

3つのキーワードと前文決定

いしかわ総文第4回生徒準備委員会



第4回
石川県総文
生徒準備委員会

発行
石川県高等学校文化連盟
新聞専門部

生徒自己紹介・プレゼン発表者

今できる「こと」を精一杯

生徒準備委員会に参加している生徒らに参加理由と意気込みを聞いた。

4年後に行われる第51回全国高等学校総合文化祭いしかわ大会に向けて、12月11日、第4回生徒準備委員会が行われた。代表全員が集まるのは今回が最後であり、自分のできることを最大限発揮した。

細部までこだわり抜く

グループワークで決定

12月11日、リファレンス金沢にて第4回生徒準備委員会が行われた。今回は第3回に話し合っていた前文を最終確認し、大会基本方針となる3つのキーワードとその説明文も決

定した。前回の会議終了後、全国に発信する前文としてふさわしいかチェックが入った。その文章を生徒の委員たちが確認し、いくつかを別の表現とした。

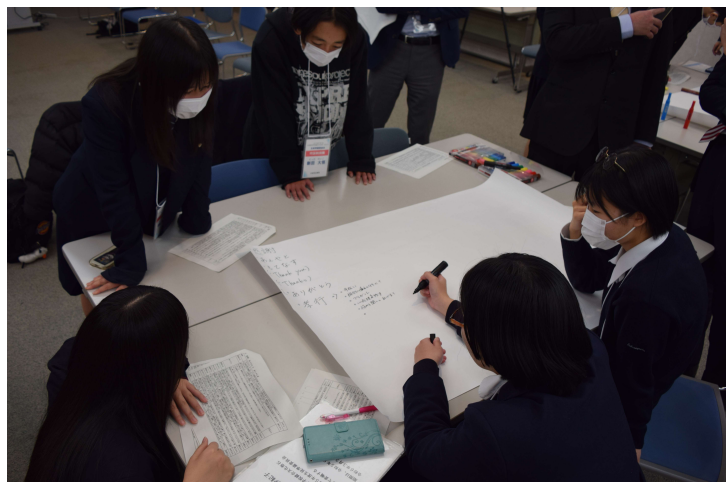
特に「引き継ぎ」という表現について、議論が交わされた。この言葉は「ただ流れているだけ」のイメージがあるという意見があった。そこで、「受け継ぎ」という1回受け止めていくようなイメージの語へと変更された。

また、感謝の気持ちを持って大会を進めたいという思いから、石川県の方言である「あんなやと」を使う案があった。しかし、私たちがあまり使っていない方言だということ、他の県の人に伝わらない可能性を考慮して、別の形にした。

総文では、基本方針となる3つのキーワードに沿って大会が進んでいく。今回はそれらのキーワードと説明文の作成にあたった。まず候補として挙がっていたのは、「かがやく」「むすぶ」「あんなやと」の3つである。「かがやく」には石川県の特産品である金箔やズワイガニのブランドである「輝」、北陸新幹線の「かがやき」などの意味合いがある。しかし、令和5年のかごしま大会のキーワードが

「輝く」だったため、このアイデアは断念した。また、感謝の気持ちを持って大会を進めたいという思いから、石川県の方言である「あんなやと」を使う案があった。しかし、私たちがあまり使っていない方言だということ、他の県の人に伝わらない可能性を考慮して、別の形にした。

そこで、最終的に「彩る」「もてなす」「結ぶ」の3つに決定した。また、3月には開催準備委員会が予定されている。ここでは、各キーワードを決めた班から1人ずつ選出され、決まった3名がプレゼンテーションを行う。そしてスライドを使い、県庁関係課長ら約20名に今までの委員会が説明する。



グループで話し合うメンバー

また、感謝の気持ちを持って大会を進めたいという思いから、石川県の方言である「あんなやと」を使う案があった。しかし、私たちがあまり使っていない方言だということ、他の県の人に伝わらない可能性を考慮して、別の形にした。

そこで、最終的に「彩る」「もてなす」「結ぶ」の3つに決定した。また、3月には開催準備委員会が予定されている。ここでは、各キーワードを決めた班から1人ずつ選出され、決まった3名がプレゼンテーションを行う。そしてスライドを使い、県庁関係課長ら約20名に今までの委員会

3つのキーワード

「彩る」
「もてなす」
「結ぶ」

今回のあすなるでは、今までに引き続き4年後のいしかわ総文に向けて計画を立てている。第4回生徒準備委員会の様子取材し、特集しました。誰も見ていないような細かいワードまで気を配り、この地道な行動一つひとつが中身の濃い

編集後記

大会へ導いているのだと感じました。この回をもって、今年度の活動を終了し、生徒準備委員会は新たなメンバーとする予定です。今回の取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。《編集委員》
杉本 莉奈
長谷川美羽
前田 優衣 (二水)



大多美優さん
県立工業高等学校
写真専門部

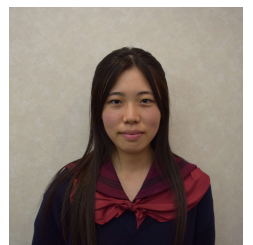


プレゼンを行う代表者3名



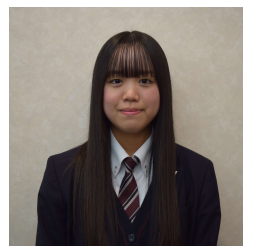
松村遥さん
金沢桜丘高校吹奏楽部
県総文に吹奏楽部として大会運営に携わっており、その際先生から推薦を受けた。来年度の生徒準備委員会の皆さんの為にも、自分ができることを精一杯行いたい。

澤本那美さん
北陸学院高等学校
器楽・管弦楽専門部
先生に勧められ興味を持ったので、今回参加する運びになった。大会に出る人だけでなく地域の方々の思い出にも残るような大会になるよう、頑張りたい。



岡本杏珠さん
金沢大学附属高等学校
将棋専門部
かごしま総文の際、高校生が大会を創り上げているのを見て、自分も携わりたいと思いついた。自分の意見をカタチにできるよう頑張りたい。

篠崎彩音さん
金沢商業高等学校
書道専門部
部の先生の話を受けて、参加した。普段は、人見知りでも何かに立候補するタイプでもないのだが、このような機会だからこそ、自分を変えて頑張りたい。



堀陽太さん
星稜高等学校
小倉百人一首かるた専門部
代表者に立候補する人がおらず、声を上げた。自ら立候補したい。上、進んで発言したい。似た意見でも共有し、話を発展させたい。

竹越愛実さん
遊学館高等学校
マーチングバンド・パトントワリング専門部
顧問の先生からの誘いを受け、参加を決意した。各部門の人とも交流を通し、より石川の魅力を感じ心から楽しめる総文にしたい。

